

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	浮腫を生じた ICU 入室患者における皮膚障害の発生要因		
1. 研究の目的と方法	研究目的 むくみを生じた ICU 入室患者さんにおける皮膚炎など皮膚の症状の特徴と発生要因を明らかにします。 研究方法 ICU 入室後にむくみを生じた患者さんを対象とし、皮膚炎など皮膚の症状の発生の有無と皮膚の症状の発生要因を調べるため、過去の診療記録を使用し、観察します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	東京慈恵会医科大学附属病院 ICU に 2020年4月1日～2023年3月31日の期間に入室した患者さんのうち、初回体重測定時から ICU 在室中に 10%以上体重増加した患者さん。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	情報は、ICU の電子カルテシステムのプログラムを利用して対象患者を抽出し、ICU の端末より次の項目について情報収集致します。 ①基本情報について 皮膚の症状の有無、年齢、性別、ICU に入室した理由 など ②皮膚障害発生の要因について 検査数値や昇圧剤・鎮静剤などの薬剤を使用していたか、使用していたカテーテル(管)の種類など ③皮膚症状の種類について ④皮膚症状が発生した部位について ⑤皮膚症状を発見した状況について 身体の清潔を保持するためのケアや処置など	
	(4) 情報の取得の方法	患者さんが入院して初めて体重を測定した時と比べて、ICU に入室してから体重が 10%以上増加した時を観察の開始日とし、診療記録からデータを収集します。観察の開始日から7日間の皮膚症状の記録を確認します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究	研究機関名	東京慈恵会医科大学大学院 医学研究科看護学専攻 博士前期課程 先進治療看護学分野クリティカルケア看護学領域

	代表者	氏名	永野みどり
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の試料・情報の管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2023年9月頃～		
<b>【問い合わせ先】</b>	機関名：東京慈恵会医科大学大学院 医学研究科看護学専攻 先進治療看護学分野 クリティカルケア看護学領域 研究責任者：教授 永野 みどり(ながの みどり) 電話番号：03-3480-1151 (内線 2820) 対応時間：平日 9:00 ~ 17:00		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。